

令和3年度 森林環境譲与税の用途について（十津川村）

【令和3年度 森林環境譲与税額】

102,829,000円

【用途事業一覧】

事業名	事業総額（円）			事業内容		
	うち当該年度の森林環境譲与税（円）	うち基金取崩額（円）	うち他の財源（円）	概要	実績	
森林経営管理法業務委託	11,408,100	11,408,100	0	0	森林経営管理法に基づき優先して整備が必要な森林の区域を設定し、森林境界明確化を実施	境界明確化実施面積：72.27ha
森林経営管理事業	499,840	499,840	0	0	経営管理権集積計画に基づき、森林整備（間伐）を実施	間伐実施面積：2.84ha
会計年度任用職員の雇用等	1,124,612	1,124,612	0	0	経営管理権集積計画の作成等に係る森林の所有者調査等を行うため、会計年度任用職員を雇用	雇用人数：1名
通信運搬費（切手代）	42,000	42,000	0	0	上欄に掲げる調査業務の実施に必要となる切手代	
基幹作業道開設（上湯川迫西川線）	82,062,030	82,062,030	0	0	路網が整備されていない地域に基幹的な作業道を開設	作業道開設延長：693.3m
作業道改良工事	4,401,100	0	4,401,100	0	開設中の基幹作業道と連結する既設作業道の改良工事を実施	改良工事：1箇所
作業道整備促進事業補助金	3,394,000	0	3,394,000	0	作業道の開設費用を助成	作業道開設延長：1,648m
森林境界明確化支援事業	2,764,100	2,764,100	0	0	森林所有者等が行う森林境界明確化活動に対し助成するとともに、当該活動成果を測量	境界明確化実施延長：16,105m（40ha相当）
森林づくり審議会	1,585,215	1,585,215	0	0	村の目指すべき森林の方向性や施業ガイドラインについて検討する審議会を開催	審議会開催回数：3回
混交林誘導整備推進事業委託	790,000	790,000	0	0	奈良県森林環境税による「混交林誘導整備事業」に係る森林所有者との調整等を委託	混交林誘導整備事業実施面積：1.64ha
集落環境等保全整備事業補助金	2,436,000	572,536	1,863,464	0	住家・ライフライン等に危険を及ぼす恐れのある立木竹の伐倒・搬出に対し助成	実施箇所：29箇所
森林GISデータ更新業務委託	1,936,000	1,936,000	0	0	林地台帳の修正等、森林GISシステムのデータ更新を実施	
森林環境教育体験学習事業	44,567	44,567	0	0	村内の小学生（5年生）を対象とした間伐体験、まき割り体験、木材加工体験等の森林教育を実施	体験学習参加者：19人
合計	112,487,564	102,829,000	9,658,564	0		

【税導入の効果】

十津川村では、林業6次産業化を掲げ、素材生産量の増大・安定化を図るため、森林環境譲与税を活用し、森林所有者等が行う境界明確化に対する補助や基幹的な作業道の開設事業等に取り組んでいる。これにより、令和3年度においては、村内全体で約112haの森林の境界が明確となり、今後の森林整備の活発化が期待できる。

また、通常の森林作業道に比べて災害に強いほか、大型機械等の通行が可能な幅員を誇る基幹作業道（上湯川迫西川線）について、令和3年度においては、計画区間の両側から開設工事を行うことにより、前年度と比べて2倍以上の開設延長となった。今後も計画に則った早期の開設を目指していく。

このほか、土砂災害の防止等の森林の持つ多面的機能が十分発揮されるよう、森林経営管理法に基づく経営管理権集積計画を策定した地区における森林整備（保育間伐）、村の目指すべき森林の方向性や森林づくりガイドラインについて検討する審議会の開催、住家周辺等の危険木処理への助成等を実施した。